

静岡大学と万瀬財産区有林の活用に係る協定書締結

～静岡大学が研究・教育活動に活用～

万瀬財産区は、区民数の減少・高齢化により、区民による区有林の適切な管理が難しくなってきています。そのため、静岡大学理学部と協定を結び、区有林を共同で管理し、研究・教育活動の場として有効活用するとともに、災害に強く管理のしやすい森林に導くことを目的とします。

事業概要

落葉広葉樹等を伐採し、照葉樹林化することにより、区有林を手入れが不要で災害に強い森林に変え、区民の負担軽減を図ります。

また、大学は森林の変化の様子を調査し、区有林を研究・教育活動を行うフィールドワークの場として活用します。

協定内容

協定面積：27.9ha

活動内容：森林調査及び資料の採集、森林整備活動、体験・教育活動、コナラ等の落葉広葉樹の伐採等

事業計画

令和2・3年度

- ・協定締結 ・現地調査
- ・整備活動
- … 作業道の設置・下草刈りなど
- ・意見交換会・活動報告会兼交流会

令和4年度以降

- ・雑木の伐採（主に落葉広葉樹）
- ・生物多様性の調査



▲ 協定地からの眺め

今後の展開予定

- ・静岡大学との連携強化 … 協定区画の拡大（針葉樹林）・他学部の協力
- ・間伐材の有効利用 … キノコの原木・薪など
- ・企業や学校、研究機関との連携

【問い合わせ】

産業部農林水産課 TEL0538-37-4813

万瀬財産区所有地域図

(森林簿・森林計画図参照)

